

「AI is Everywhere」の実現に向けた基盤づくり

## 日系物流企業で初、AIプラットフォーム「Glean」を導入

700名超のAI人材育成、75本のAIエージェント創出へ

鴻池運輸株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）は、Glean Technologies, Inc.（本社：米カリフォルニア州、CEO Arvind Jain、以下 Glean 社）が提供する企業向け生成 AI プラットフォーム「Glean」を、日系物流企業で初めて<sup>※1</sup>導入しました。

本件は、昨年発表した KONOIKE グループ「生成 AI 活用プロジェクト」<sup>※2</sup>における、「全社 AI 基盤の構築」と「AI 人材育成」に基づく取り組みです。

※1 2026年5月18日時点、Glean 社調べ

※2 関連報道発表（2025年11月26日）[https://www.konoike.net/news/news\\_file/file/20251126\\_\\_news.pdf](https://www.konoike.net/news/news_file/file/20251126__news.pdf)

### ■「生成 AI 活用プロジェクト」発足の背景・目的

昨今、業界を問わず、少子高齢化・人材不足の深刻化による生産性向上とウェルビーイングの両立が急務となっています。鴻池運輸ではこうした課題に対応するため、2023年より生成 AI 活用を推進し、2024年12月には ICT 推進本部内で「生成 AI 活用プロジェクト」を発足、統一された全社 AI 基盤の構築に取り組んできました。

一方で、部門や個人ごとに異なる生成 AI ツールを利用する「シャドーAI」が生じるなど、セキュリティやガバナンスの観点から全社共通の AI 基盤への移行が喫緊の課題となっていました。また、複数の SaaS<sup>※3</sup>に社内ナレッジが分散し、資料検索や会議準備に時間を要し、意思決定のスピードにも影響が出ていました。

※3 インターネット経由で提供され、インストール不要で使えるソフトウェア（例：Microsoft 365、ServiceNow など）

鴻池運輸では、まず自社クラウド上に内製の生成 AI 基盤を構築しました。しかし、応答速度や回答品質、長期的な運用・改善コストの観点から、グローバルで継続的に機能強化が行われる外部 AI プラットフォームの採用を検討した結果、連携できるアプリケーションの多さ、主要 SaaS との横断検索・自動化性能、直感的な UI、高いセキュリティとガバナンス等の利点から、「Glean」を全社標準の AI 基盤として採用しました。

### ■活用状況と現状の成果

「Glean」の本格導入に先立ち、鴻池運輸は 2025年11月から ICT 推進本部および PoC 部門の約 100名を対象に先行利用を開始しました。現在は約 1,200ライセンスで本格稼働中で、Box、Microsoft Outlook、ServiceNow など社内の主要 SaaS を横断した検索やレポート作成、チャット回答に加え、自然言語による AI エージェント開発に活用しています。

また、プロジェクトの初期フェーズで確立した AI 研修や AI アンバサダー制度を通じて、現場主導でユースケースの発掘と展開を進める体制を構築。研修参加者は累計で約 600名に拡大し、定型資料

作成の自動化やコーポレート部門向け FAQ チャットボットなど、複数のユースケース開発も進んでいます。

#### ■今後の展開

ICT 推進本部は「AI is Everywhere」をスローガンに、「Glean」を中核とした全社 AI 基盤のもと、2026 年度内に以下の達成を目指しています。

- ・「Glean」の月間利用ユーザー数（MAU）を約 600 名規模まで拡大
- ・日常的に「Glean」を活用する「AI プラクティショナー」を約 600 名育成
- ・各部門で AI 活用をリードする「AI アンバサダー」を約 100 名育成
- ・現場の業務プロセスに組み込まれた実用的な AI エージェントを 75 本稼働

これらの目標達成に向けた活動を通じて、「AI を前提とした業務プロセス」への転換を段階的に進め、労働力不足の解消と生産性向上、従業員のウェルビーイング向上の両立を実現していきます。

KONOIKE グループでは、2030 年ビジョンで「技術で、人が、高みを目指す」を掲げ、最新技術と現場で培われてきた職人の技術を掛け合わせ、「現場のあり方」を進化させることを目指しています。当プロジェクトを通じて、企業競争力の強化と、従業員の生産性とウェルビーイングの向上に、引き続き取り組んでまいります。

#### ■鴻池運輸 執行役員 ICT推進本部本部長 佐藤 雅哉 コメント

2026 年度、KONOIKE グループの AI 戦略は「活用」から「定着と変革」のフェーズへと移行します。「Glean」はその強力なエンジンであり、AI アンバサダーや実務者を合わせ計 700 名超の AI 人材育成、そして 75 本の AI エージェント開発という具体的なマイルストーンを達成してまいります。

「Glean」には、これら AI 人材の活動を支えるダッシュボード機能の強化や、日本語特有の商習慣・表現への高度なローカライゼーションを期待しています。私たちは単なる導入企業にとどまらず、日本市場における「Glean」コミュニティの発展に寄与するパートナーとして、現場発のユースケースを共に創出していきたいと考えています。セキュリティと利便性を高次元で両立する「Glean」とともに、AI 活用レベルを底上げしていきます。

#### ■Glean社 営業担当副社長 Brad Scott コメント

鴻池運輸様との提携は、当社にとってきわめて重要なマイルストーンとなります。日本国内で確固たる信頼を築かれている同社に弊社ソリューションが採用されたことは、戦略的に大きな意義を持ちます。これは、日本を代表するリーダー企業が、業務全般を網羅し、かつセキュアで実用性に優れた AI を真に求めていることを象徴する好例と言えるでしょう。

日本はGlean社にとって最優先の成長市場であり、私たちは継続的な投資を惜しみません。現在、国

内チームの拡充やリーダーシップ体制の構築、さらには日本のお客さまやパートナー企業様へのサポート体制の強化を進めております。

■ 「Glean」について (<https://www.glean.com/jp/>)

「Glean」は、AIを活用してすべての人がよりスマートに働くことを可能にする企業向けの「Work AI」プラットフォームです。「Glean Assistant」は、社内に分散しているデータをつなぎ、内容や関係性を理解する「Enterprise Graph（エンタープライズ・グラフ）」を通じて、従業員が必要な情報を検索・確認できる AI アシスタントを提供します。「Glean Agents」は、自然言語で指示することで、業務に合わせた AI エージェントを作成・活用・管理できる機能です。

「Glean」の AI エージェントは、同社の検索技術と AI エージェント機能を基盤に、組織全体の業務自動化を支援します。既存システムのアクセス権限を踏まえて利用でき、回答の根拠となる情報の確認、ガバナンス、セキュリティにも配慮されています。また、100 以上の外部サービスとの連携、用途に応じた LLM の選択、カスタマイズ用 APIなどを備えており、複雑な AI 活用環境を単一の横断的なプラットフォーム上で、迅速かつスケーラブルに導入できます。

■ 鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証プライム市場	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880（明治13）年5月	会社設立	1945（昭和20）年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約25,000名（連結） ※臨時雇用者数を含む
売上高	355,555百万円（連結）	営業利益	22,785百万円（連結）
事業内容	鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連／定温物流事業、食品プロダクツ関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、国際物流事業、インド事業		

※資本金、売上高、営業利益、従業員数：2026年3月31日現在

●本ニュースリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

（報道関係者様お問い合わせ先） 広報室 古屋、<sup>じくはら</sup> 笠原、<sup>とね</sup> 刀根、<sup>よしたに</sup> 葭谷 tel:03-3575-5753